



『Xシリーズ』へのバージョンアップにより  
利用する機能範囲が増加することで、  
業務処理スピードが比例して向上。  
入力業務ではミスの発生を抑制

## 株式会社 カネヒコ

秋田市を中心に、多方面からのオフィス環境のサポートを行っている株式会社カネヒコ。ハード・ソフトも含めたネットワーク環境の構築や、各種 OA 機器の修理、事務用文具の販売など同社の取り扱っている商品は幅広い。同社は PCA パートナーとしての顔も持っており、PCA ソフトを熟知した企業だ。昨年『PCA 会計』『PCA 商魂』『PCA 商管』をそれぞれ『X シリーズ』へとバージョンアップした。この 1 年間で見てきた『X シリーズ』の効果を伺った。

### 導入システム

- ・ PCA 商魂 X with SQL (15CAL) ・ PCA 商管 X with SQL (15CAL)
- ・ PCA 会計 X システム A

### 導入の狙い

- ・ サーバーが古くなり、『PCA 商魂』の動作が遅くなった。
- ・ 売上傳票を迅速に検索したい。
- ・ Access® データとの連携を容易にしたい。

### 導入効果

- ・ サーバーを一新し、『X シリーズ』へとバージョンアップ。
- ・ サーバーの更新と『X シリーズ』へのバージョンアップによって、売上傳票の検索時間を大幅に短縮。
- ・ 『X シリーズ』では Access® データも容易に取り込み、他のソリューションソフトとの連携も可能。

### プロフィール

#### 株式会社 カネヒコ

- 所在地：〒010-0966 秋田県秋田市高陽青柳町 17-64
- 従業員数：10 名
- 創業：昭和 47 年 2 月 1 日
- 設立：昭和 47 年 6 月 1 日
- 業務内容：OA 機器販売、修理
- 資本金：16,000,000 円
- URL：<http://www.kanehiko.co.jp/>



株式会社 カネヒコ

株式会社カネヒコでは、お客様のますますの発展のため、  
全力でオフィスづくりのお手伝いをいたします。

オフィスに関わることであれば、ハード、ソフトに関わらず、納入後のサポートやメンテナンスもしっかり対応しています。

お客様が本業に集中できるよう、OA機器の管理等煩わしいことは  
当社へお任せください。

## バージョンアップ前の 運用と課題

### ○サーバー更新とともにいっ せいに『Xシリーズ』へ

株式会社カネヒコでは 15 年以上前から PCA ソフトが利用されてきた。同社代表取締役の阿部大助氏は、先代から同社を継承する以前は SE としての経験を積み、現在、同社は PCA パートナーとして、秋田市内のエンドユーザーの声にダイレクトに対応している。

同社では昨年 6 月にサーバーを更新。それに伴い『PCA 会計』『PCA 商魂』『PCA 商管』を、それぞれ『X シリーズ』へとバージョンアップした。約 1 年間、実際の業務で『X シリーズ』を使用したことで、改めて様々なメリットが見えてきたそうだ。

## バージョンアップ後の メリット

### ○売上传票の検索スピードが 向上

バージョンアップ後の 1 年間で、もっとも劇的に変わったことは「検索スピードの速さ」だと阿部氏は評価する。

「当社では、過去の売上传票のデータは期を区切らずにどんどん蓄積させています。というのは、当社の場合、販売している商品の数や種類が非常に多くて細かく、年度ごとの更新では領域を切り替える必要があり、するとさらに検索に時間がかかってしまいます。そのため『PCA 商魂』を導入した平成 10 年以降の売上传票のデータをすべて蓄積しているのですが、バージョンアップ

以前は、売上传票の検索に約 1 分程度の時間がかかっていました。しかし、バージョンアップ後は、わずか数秒で検索結果が出てきます※1」（阿部氏）

売上传票の検索時間の短縮には、サーバーの更新もちろん影響していると考えられる。それに加えて『X シリーズ』は以前のバージョンに比べ、検索の仕様そのものを大きく見直したことで、検索速度の向上も図っており、これらの要因が合わさり驚くほどの検索スピードの向上という結果が得られている。

毎日のデータのバックアップにおいても、同様に時間が短縮できており、以前は 2、3 時間かかっていたが、現在は 2 台のパソコンのバックアップの合計時間は数十分で済んでいる。

### ○Access® データの売上を 『PCA 商魂 X』に容易に取り 込める

同社はコピー機のメンテナンスも行っている。各オフィスで使用されているコピー機のカウンター料金の売上については、Access® で集計し、それを汎用データとして『PCA 商魂 X』に取り込んでいる。

「受入パターンを使用することで、1 つずつ項目を紐付けして取り込めます。Access® 側の調整が不要で、出力したものを取り込むだけなので便利です。『X シリーズ』になってから画面も見やすくなったことから、連動の設定がしやすくなった感じがします。現在はこの Access® データとの連携だけですが、PCA ソフトは他の関連ソリューションとの連携についても柔軟性があります。また『PCA 商魂 X』のデ



株式会社 カネヒコ  
代表取締役  
阿部 大助 氏

※ 1）：速度の結果については、(株)カネヒコ様の環境下での体感速度となります。PCAが保証する速度ではありません。

ータは CSV 形式で出力をすることも容易なため、今後もいろいろと応用を効かせた運用ができるのではないかと考えています」(阿部氏)

## ○コードの打ち間違いのミスも解消

実際に会計や売上を入力している事務スタッフからは、伝票入力画面がわかりやすく、入力の手間が軽減できるよく考えられた設計になっているところが便利だと実感しており、「ミスが減る」という安心感が生まれたそうだ。

例えば『PCA 会計 X』の場合、よく利用する機能として「振替伝票入力」がある。入力時、「勘定科目」「部門」「摘要」などの項目は、2 行目以降が上段と同じ内容であれば、エンターキーでコピーしてくれる。入力箇所が減れば、それだけミスも無くなり、エントリー業務も早く終わる。

「バージョンアップ直後は、ファンクションキーの変更もあったため、事務スタッフたちの間でもつい打ち間違えることはありました。しかし 1 年間も

使うとすっかり慣れています。PCA 以外のソフトを使ったことがないスタッフも多く、他社ソフトとの比較はできないのですが、スタッフの総意としては、バージョンアップしたことで、より効率的に業務を行えています」(阿部氏)

## 今後の課題と展望

### ○大量かつ細かな商品をどう管理するか

『X シリーズ』へのバージョンアップによって、よりスムーズに業務を推進できるようになった同社だが、まだまだ機能を使いこなせていないのが現状だと語る。

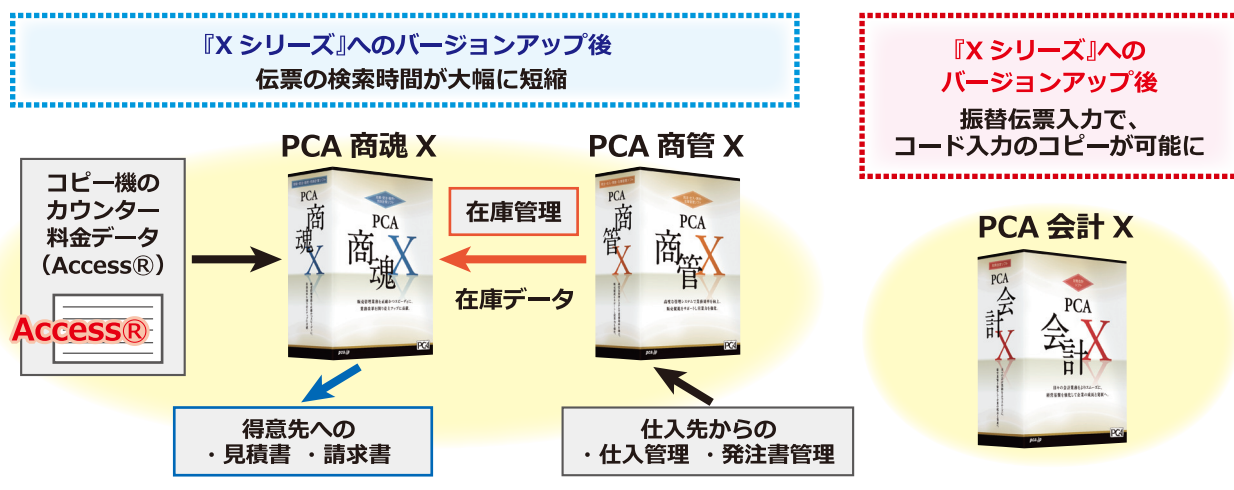
『PCA 商魂』『PCA 商管』『PCA 会計』は連携させることで、データの自動反映など便利に使える特徴を持っているが、同社では現在、『PCA 商魂』『PCA 商管』と『PCA 会計』の連携は行っていない。

「なかなか時間が取れず、仕訳データ

### <取扱商品>

- ・デジタルフルカラー複合機
- ・デジタル複合機
- ・パーソナルコンピュータ
- ・パーソナルコンピュータ用周辺機器
- ・ソフトウェア
- ・デジタル家電
- ・各種 OA 機器
- ・オフィス用スチール家具
- ・事務用文具
- ・各種修理・メンテナンス
- ・ネットワークの設定及び保守

## システム概況図



## 【環境対策】

株式会社カネヒコは、販売会社として地球環境保護に協力できるよう平成 11 年 7 月 1 日に環境対策実施要綱を作成し、これにそって営業活動をしています。

### ◆基本理念

環境保全を全世界の緊急課題と認識し、この問題の解決に向け、全社員の英知を結集し、全社を挙げ行動します。

### ◆行動規範

社会の一員としての責任を認識し、あらゆる行動に対して、Reduce(無駄遣いをなくす)、Reuse(再使用する)、Recycle(再利用する)の 3R を規範として取り組みます。

### ◆推進体制

社長直属の係として、環境対策係を設置します。

### ◆具体的な活動

- ・電子資料閲覧実践により、紙資源での社内資料を削減します(紙資源の消費削減、ごみの減量化)
- ・紙資源を使用する場合は、再生紙、ミスコピーの裏紙を優先的に使用します(紙資源の消費削減、ごみの減量化)
- ・お客様に対し、エコ商品を積極的に提案します(塩ビ製品の使用削減、紙資源の消費削減、ごみの減量化)
- ・再生可能商品に関しては積極的に回収し、メーカーの再生活動に協力します(塩ビ製品の使用削減、ごみの減量化)
- ・グリーン購入品目を拡大します(環境への負荷軽減)
- ・Energy Star 適合商品を中心に販売します(環境への負荷軽減)
- ・不要な電気はこまめに消します(省エネルギー)
- ・アイドリングストップを実践します(省エネルギー、Co2、Nox の削減)
- ・社用車購入時は LEV か否かを検討項目とします(省エネルギー、Co2、Nox の削減)
- ・資源ごみの分別回収を徹底します(資源リサイクルへの協力、ごみの減量化)

の連携テストができておりませんが、データを再利用すれば、再入力の手間が省けるだけでなくミスも減り、データ自体の信頼性も向上します。業務効率のためには次の課題であると考えています。」(阿部氏)

同社の場合、取り扱っている商品の種類と数が多いという事情もある。文具についてはシャープペンの替え芯のような細かな商品も含まれ、事務用紙も 1 枚ずつ値段が違う。加えて文具は毎年商品が入れ替わるため、1 度しか使わない商品コードも発生し、在庫管理や商品管理は複雑になりがちだ。

「商品コードについては、削除や修正するのは難しいというイメージを持っていたのですが、「使用区分」を『禁止』にするという設定を先ほど知ったので、今後、使っていきたいと思います。このようにソフトの機能をまだまだ使いこなせていないというか、本当は便利に使えるのに、知らないままの部分が多いの shouldn't ね」(事務スタッフ)

## ○PCA パートナーとして、PCA ソフトのアドバイスも提供

現在、同社では目下の課題として、これまで蓄積された売上や仕入データの管理を検討している。

「例えば A 社に 3 年前に販売した PC の型番など、そのような細かな情報も含めたデータを、なんとか『PCA 商魂 X』『PCA 商管 X』に上手に取り込み、

かつ迅速に確認できるようにしたいのですが、やはりデータが重くなるため、今、最善の方法を模索中です」(阿部氏)

PCA パートナーでもある同社では、文具の配達や OA 機器のメンテナンスなどを依頼されたときに、その顧客先で使用されている PCA ソフトの使い方もアドバイスしている。

「文具を届けに伺った際に、お客様から、『ちょっとここを教えてよ』ということで、その声に対応させていただいています。主にフリーフォーマットの手直しや、バージョンアップによって変わった点などをお伝えしていますが、中には『X シリーズ』をかなり使いこなしておられるお客様もおられます。当社は PCA のサポートセンターを利用することも多いのですが、PCA スタッフの対応は非常にわかりやすく、当社のスタッフからの評価も高いです。今後も今までのノウハウを活かしながら、お客様の快適なオフィス環境に役立てる企業でありたいです」(阿部氏)